

令和3年4月16日発行

とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室

青谷かみじち遺跡

NEWS



Vol. **18**
2021 Spring

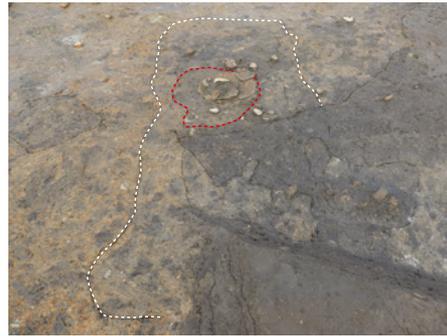
発行：とっとり弥生の王国推進課
青谷上寺地遺跡整備室
〒689-0952
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2F
電話 0857-85-5011



こんにちは！
青谷上寺地遺跡整備室です。

私たちは、国史跡青谷上寺地遺跡の発掘調査や出土品の研究、史跡の整備・活用に取り組んでいます。今年度は4人の新メンバーを含む12名です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の発掘調査始動！



昨年度見つけた遺構（14土坑）



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、現場見学の方法の変更や中止をする場合がありますのでご了承ください。

今年度の発掘調査を5月17日（月）に開始します。調査地は史跡の北側に位置し、弥生時代には内海に接する場所でした。昨年から2カ年の計画で発掘調査を行っており、昨年度の調査では古墳時代前期（約1,700年前）に内海側に向かって土地を造成していたことが明らかになり、たくさん遺構（穴や溝など、昔の人の活動の跡）が見つかりました。

そのうちのひとつ、「14土坑」は、長さ2.5m、幅1mほどの長方形をした穴で（写真の白線範囲）、その中心付近からは完全な形をとどめた土器が出土しました（写真の赤線部分）。発掘調査再開後に、「14土坑」にたまった土を掘り下げていきますので、いきなり大発見！なんてこともあるかも・・・。今からドキドキしています。

発掘調査は8月上旬に終了の予定です。平日は発掘調査を一般公開しており、発掘調査担当職員が解説を行っています。お気軽にお立ち寄りいただき、日々何か新しい発見がある発掘調査をご覧いただければと思います。

6月頃から史跡整備工事を再開します！

6月頃から山陰自動車道の南側で史跡整備工事を再開します。今回整備工事を行う場所は、弥生時代後期（2世紀頃）には湿地が広がり、その周辺に水田が営まれていたことがわかっています。史跡整備では、弥生時代の地形を復元すると共に、その周りに田んぼ、はたけ、ひろばなどを整備し、弥生時代の生活や文化を学んだり、地域のイベントなどに活用する空間を創ります。

西側の一角には、展示ガイダンス施設を建設し、国の重要文化財に指定されている貴重な出土品をじっくり見学できる展示室や、様々な体験学習に利用できる体験学習室を設けます。地域の文化活動や観光の拠点となる史跡公園を目指し、これから活用の具体的な検討も進めていきます。なお、この整備工区は、2023年度秋オープン予定です。どうぞご期待ください。



整備の完成イメージと今年度の整備工事範囲